

議会 *Assembly*

福智町議会議長

大島道人



新年おめでとございます。新春を迎え、皆様には心よりお喜びを申し上げますとともに、本年がすばらしい年となりますようお祈り申し上げます。

昨年一年間は、私たちにとって大変な年でありました。年の初めから中旬にかけて、ガソリンをはじめとして、あらゆる原材料の高騰による生活関連物資の大幅な値上げは、私たちの家計を直撃しました。また、年の中盤から後半にかけては、アメリカのサブプライムローン問題に端を発する金融危機が瞬く間に全世界に波及し、世界同時不況を招いており、わが国においても、金融危機が実体経済に影響を与え、輸出関連企業をはじめとして、大幅な人員削減、中小企業の倒産など未曾有の経済危機を迎えています。

このような厳しい経済状況の中で、福智町は合併後まもなく三年を過ぎようとしています。この間の町政を振り返ってみますと、残念ながら、いまだ、合併後の明確な町政の道筋を描くことができておらず、行財政改革、とりわけ滞納問題・公共施設の統廃合等が大きな問題として残っております。

今後は、これらの課題解決に、早急に全力を挙げて取り組むことが急務であり、議会といたしましても、行政に対し、積極的に提言、指摘を行なっていきたいと考えています。また、町行政が公平、民主的で、住民の立場に立った運営が行なわれているかを常にチェックし、住民のみなさんの声を行政に反映できるよう、その橋渡しとしての議会の役割を認識し、力を尽くしたいと思っております。

住んでよかったと思える福智町の創造のため、その礎を築くために、議員一丸となつて職務を遂行し、住民のみなさんの付託に応えるべく、日々努力を重ねてまいりたいと思っておりますので、みなさんの議会活動に対するご理解、ご協力をお願い申し上げます。また、議会に対する叱咤激励を併せてお願いし、新年のあいさつといたします。

行政 *Administration*

福智町長

浦田弘二



新年明けましておめでとございます。どなたも新たなお気持ちで新春をお迎えのことと存じます。しかし、手放して初春を喜んでいくわけにはまいりません。ご承知のように、昨春秋、アメリカに端を発した百年に一度と言われる経済不況、金融危機の波が、我が国にも大きな打撃を与え、各分野で深刻な様相を呈しています。日本の政府も、景気浮揚策として、積極的な方策を講じており、景気回復の即効薬になり得なくても、徐々に効果が現れてくるのではないかと期待しているところです。

こうした厳しい状況下ではありますが、福智町は、まもなく三歳の誕生日を迎えようとしています。また、この三年という時の流れは、一体感という何にも代え難い大切な絆を、町全体に育ててくれつつあると確信しています。

ところで、合併初年次から、財政の健全化や行財政改革を町政推進の主要な柱に据え取り組んではいますが、まだ、町民の皆様にも認めてもらえるような段階には到っていません。更に努力をしてまいりたいと存じます。とりわけ、税等の滞納問題は、行政に対する信頼に関わることもであり、全職員の気持ちを一つにして解決にあたりたいと思っております。昨年十二月の広報紙でお知らせいたしました「福智町総合計画」に基づいた「まちづくり実施計画」の策定作業が、鋭意進められています。教育環境の充実や町内資源を活用した観光促進・起業化の推進、そして地産地消を可能にする農業振興や高齢者に優しい商店街の整備等、町民の方と職員の混合チームで真剣に検討がなされております。具体的に方針が決まりましたら、タウンミーティング等でお伝えしたいと思っております。また、昨年七月に発足した「男女共同参画条例策定委員会」でも、本年三月定例議会に条例案を出すべく、精力的に審議をいただいているところでございます。

このように、遅々たる歩みではありますが、福智町の明日に向けて着実に歩を進めておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。結びに、皆様のご健勝とご多幸を衷心より念じまして、新年のご挨拶といたします。